

単元名 【旧】ストローで こんにちは(工作)

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 思い付いた形になるように材料や用具の使い方を工夫することができる。
(2) ストローを動かしながら、動く仕組みについて理解し、動く楽しいものを考えることができる

ストローの動きの楽しさや、友達の作品の面白さに気付くことができる。

(3) ストローを組み合わせた仕組みを使って、動くおもちゃをつくることに取り組もうとする。

標準的な展開例

02080309_001

【準備等】厚紙、ストロー（太いものと細いもの2本）、毛糸、モール、紙コップ、色画用紙、画用紙、色紙、サインペン、クレヨン、パス、セロハンテープ、木工用接着剤、のり、はさみ、きり

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 教科書の参考作品を見て、ストローを使った動く仕組みを理解する。 ○教科書の参考作品を見て、感想を発表する。</p> <p>★動く仕組みを使って、楽しく遊べるものをつくろう ○ストローで動く仕組みを理解する。 ○ストローを使って動く仕組みをつくり、動かしてみる。</p> <p>○動く仕組みから連想される動きや、おもちゃを考える。</p> <p>2～4 ストローを使った動くおもちゃをつくる。（活用） ○仕組みの動きを確かめながら、それを生かすことができる楽しいおもちゃを考える。</p> <p>○つくったもので楽しく遊び、作品のよいところを発表する。（言語活動）</p>	<p>・教科書1・2下 P.42, 43</p> <p>・どのように動くのか、参考作品の面白さを想像させる。</p> <p>・ストローのみの仕組みとストローと紙コップの仕組みを一つ選択してつくらせてもよいし教師側で選択して提案してもよい。</p> <p>・教科書P.42の「つくりかた」を参考にする。</p> <p>・実際に仕組みをつくって見せると理解しやすい。</p> <p>・生活のなかに、ストローの動きに似たものを探して参考にさせるとよい。</p> <p>【評】動くおもちゃをつくる活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p>・身近な材料などを使って工夫したり飾ったりすることを提案する。</p> <p>【評】作品を通して、おもちゃの動きを基に、動く楽しいものを考える「発想や構想の能力」を評価する。</p> <p>・友達と作品を動かしながら面白いところや、工夫しているところやよさなどを話し合わせる。</p>

【 備 考 】